

おひさま

No.5
平成24年6月発行

愛称が「おひさま」に決まりました!

交流会開始から一年半が過ぎ、ようやく会の愛称が決まりました。

特に外出行事を企画すると、雨に降られることが多い若年性認知症交流会ですが、雨の日も曇りの日も、そして、私たち一人ひとりの人生も晴れの日ばかりじゃないけれど、いつも心に太陽を! という気持ちで「おひさま」の愛称を付けました。愛称とともに、皆さまにより一層親しんでいた交流会を続けていきたいと思えます。

また、併せて、広報紙も「若年性認知症交流会だより」から「おひさまだより」に変更しました。

今後も、交流会の様子や若年性認知症に関する情報をお伝えし、多くの方に若年性認知症について関心を持っていただくきっかけにできるようにしたいと考えておりますので、「おひさま」「おひさまだより」とともに、よろしくお願ひいたします。

二年目の楽しみ、これからも...

毎月のプログラムを考へる時、昨年の同じ季節に出かけた場所やプログラムを振り返ります。

当日の様子や、参加者・スタッフの様々な表情を思い出し、今年は何んな風にして過ごそうかと二巡目の季節に、企画する楽しみもふくらみます。

今後も、夏まつり、行楽シーズンの外出、クリスマス会等、季節を感じられる行事や、認知症の本人それぞれの個性に応じた個別プログラムを楽しみながら、時には医師やその他専門家

<2012.5.19>
昨年出かけたバラの公園、今年もきれいに咲いていました。



手で触れてみたり

香りを楽しんだり...

を交えて認知症に関する講習会や生活に役立つ知識を学ぶ場が持てるよう、有意義な交流会を企画したいと思います。六月の交流会では、来る夏に向け、健康管理をテーマにしたプログラムを企画しています。

くじめ内科医院の久次米健市医師をお迎えして、来る夏に向け、体調管理に関する講習会と、食事が増えてしまいがちな方にお勧めする低カロリーの作り置きにもチャレンジします。

昨秋、「手洗いの歌」を歌いながら、風邪予防についてお話くださった久次米先生、ユーモアたっぷりのお話が大変好評でした。今回はどのようなお話をお聞かせしていただけるのか楽しみです。

個別対応とは...とても重要です!

介護保険事業所では、サービス実施にあたり、個々の利用者ニーズに応じた個別のケアプランに基づくサービス提供が求められています。

中でも認知症の方に対しては、個別対応の必要性が高く、とりわけ若年期の認知症の場合、症状の出入りや進行の速さ、体力、その他諸々において個人差が大きいため、より個別性を重視したケアが必要とされています。

これまでに行われた各自治体等のアンケート結果からも、主に高齢者が利用する介護サービスの現場においては、若年性認知症の方に適したサービスを提供できる介護サービス事業所がまだまだ少ないことも若年性認知症支援の課題の一つとして認識されています。

私たちは、交流会を通じて、若年性認知症の方に適した活動プログラムやサポートに関して経験を積み、学んだノウハウを介護サービス事業所等、地域の支援者と共有していきたいと考えています。交流会参加者にも介護サービスを利用されている方が多く、やはり、ご自分に合ったデイサービスやショートステイ等に出会うまで苦労された方もおられます。

交流会でも、開催の度に個々の参加者について新たな気づきがあります。毎回、交流会終了後のミーティングで1日を振り返りながら、その日の気づきを今後の交流会や、

その方の日常生活に活かせるよう、スタッフで話し合います。

例えば、交流会の定番プログラム、「散歩」ひとつをとっても、歩くペースはもろんのこと、周りの景色や会話を楽しみながらのんびり歩くことが好きな方もおられれば、どこに何をしに行くのか、はつきりとした目的がなく、ただ歩くだけでは散歩を楽しめない方等、様々です。

また、同じ方でも、日によって、体調や気分差があり、毎回同じ方法が良いとも限りません。認知症の有無に拘わらず、日によって体調や気分差があるのは当然のことですが、言葉を通じて気持ちを伝えることが難しい方の意向をくみ取るのは、やはり難しいことです。

まだまだ試行錯誤の状況ですが、用意したプログラムに参加者を当てはめるのではなく、個人個人に合った方法でプログラムに参加するためのサポートができるようになっていきます。

今後も、若年性認知症の方がいきいきと参加できる活動内容や、それぞれに合った参加の仕方を見つけてプロセスを積み重ねて行きたいと考えています。

そして、活動プログラム以外の様々な生活場面における個別ケアについても、「認知症」という枠で一括りに捉えるのではなく、原因疾患やその時々々の体調、身の回りに起きている生活環境の変化等を踏まえて、認知症の方が心身ともに健康な生活を継続するために必要なサポートができるスキルを磨く必要があると考えています。

交流会スタッフニューフェイスです!

今年度から交流会に参加し始め、4月には王子動物園と中華街、5月には、ご本人と公園や神社へのお散歩にご一緒させていただきました。

初めての日は、緊張していましたが、あたたかい雰囲気ですぐ入っていくことができました。

交流会の日は、ご本人お一人に、スタッフが一名以上ご一緒させていただきます。外出時、手をつなぎ



<ハーモニカに合わせて♪>
歩いてみると、ふとした時に笑顔がみられ、私や周りのスタッフも、ほのぼのとした雰囲気でお散歩しています。スタッフは、ボランテアやプロの介護スタッフもおり、音楽が得意な方の演奏で、外で歌をうたったりもしました。

また、交流会では昼食やおやつを手作りすることもあります。作っていると、ご本人が、「やりましたよか?」「この方が美味しそうに見えるよ」などと手伝って下さいます。

その方の、得意なことや、こだわりを知ることが出来る時間にもなっています。

2回の交流会で、皆さんの笑顔と、愛称にもついたら、ご家族の「いつも心に太陽を持ってほしい」という気持ちに、私も元気にさせていただきます。

今後も、すてきな会になるようお手伝いしていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。月に一度、みなさまのおひさま笑顔にお目にかかることを楽しみにしています!

小地域福祉活動サミットの案内

平成二十五年一月十二日(土)、神戸国際展示場及び、神戸学院大学キャンパスにて、「第六回全国校区・小地域福祉活動サミット」が開催されます。

小地域福祉活動サミットは、住民同士の支え合いを基盤とした生活地域における小地域福祉活動にスポットをあてた全国大会です。

皆さまのご参加をお待ちしております。



<若年性認知症交流会おひさま お問い合わせ先>
神戸市社会福祉協議会 福祉事業2課
〒651-0086
神戸市中央区磯上通3丁目1-32
こうべ市民福祉交流センター4階
電話:078(271)-5316 FAX:078(271)-5366
E-mail: zaitaku@with-kobe.or.jp
URL: http://www.with-kobe.or.jp



ロールパンに好きな具を入れて...
美味しそうなランチに、またまた笑顔、笑顔♪

4月にデビューしました笑顔が可愛い足立です♪(写真右) よろしくお願ひします。

